



よく学び、よく遊び

そして、よく食べる2学期に

子どもたちにとっては短く、保護者の方にとっては長かった夏休みも終わり、学校には子どもたちの元気な声が返ってきました。2学期も本校の教育活動へのご理解とご協力を賜りますようよろしくお願いいたします。

2学期は、約80日と最も長い学期です。腰を据えてじっくり学習に取り組んだり、しっかり体を動かしたりして、心身ともに充実した日々にしていきたいと考えています。

子どもたちに分かりやすい言葉にすると、次のような言葉となります。

よく学び、よく遊び、よく食べる2学期にしよう！

「よく学び、よく遊べ」という言葉は、学校教育界隈で昔から使われている言葉です。

よく学べば脳は疲れます。その疲れは、遊びなどの運動で回復されます。回復どころか、運動は脳の働きを活性化させます。テストの前に、軽い有酸素運動をすると集中力、書くスピードが高まり、平均点も上がるというエビデンス（科学的根拠）も数多く存在します。

2学期は後半に学習発表会がありますが、それまでは大きな行事はありません。落ち着いて学習に取り組むことができる絶好の季節です。けなふれ学習法など、新しい学び方も上手に取り入れ、学ぶことが楽しいと思えるよう、教職員一同がんばってまいります。そして、子どもたち自身が「楽しい学校にしたい!」、「挑戦したい!」と一歩踏み出せるようサポートしていききたいと思います。

よく学び、よく遊べばお腹もすくはずです。しっかり食えることへの喜びも感じられる2学期にしていきたいと思ひます。

2学期は、食育にも力をいれていきたいと考えています。戸島学校食育センターが給食を提供している市内13小学校の中で、佐良山小の残食率は断トツで最下位です。市内平均残食率の約2倍。何が原因なのか分析し、食の大切さも発信できるよう努力してまいります。

PTA 奉仕作業大変お世話になりました！

8月23日（日）早朝より、奉仕作業にご参加いただきありがとうございました。50世帯、約80名の皆様にご参加いただき校舎内外の清掃や草刈りなどをしていただき、美しく整った環境のもと2学期をスタートすることができました。児童数・職員数の減少に伴い、環境整備に充てる余裕も減少している現状にあるなか、このようなサポートは、本当にありがたいです。



心よりお礼申し上げます。

外側の窓もピカピカに
していただきました！

暑さ対策をお願いします

8月後半ですが、油断ならぬ暑さが続いています。暑さ指数（WBGT）が高い日は、外遊びを禁止します。

保護者の皆様におかれましては、お茶を多めに持たせたり、ネックアイスや日傘を持たせたりするなどの暑さ対策をよろしくお願いいたします。



令和8年度全国学力学習状況調査（6年生）

結果概要について

4月27日に実施した上記の調査（6年生）結果が、8月に公表されました。この結果からがんばっていることや今後の課題が見えてきました。結果に一喜一憂する必要はありませんが「課題」についてはよく分析し、より良い方向に伸ばしていきたいと思ひます。今回は、学力調査の結果概要（算数を中心に）を裏面に紹介しております。

9月～10月の行事予定

ホームページに行事予定を掲載しております。

2学期の下校時刻も掲載しています。合わせてご確認ください。



裏面あります

◆令和8年度全国学力調査(6年生)結果概要

国語 46.3 (▲3.7)

算数 46.5 (▲3.0)

・数値は標準スコア※で表示、() は県平均差

※【標準スコア (偏差値)】

全国の平均正答率を50としたときの換算値。50を超えていれば相対的に良好であり、50を下回っていれば課題があることを示している。

昨年度(5年生で)実施した学力テストと比較すると、国語は1.8ポイント下がっていますが、**算数は1.4ポイント上がっています**。昨年度から算数を中心とした習熟学習(佐良山タイムなど)の成果が出ていると考えられます。

国語に関しては、与えられた条件に沿って作文を書く問題の正答率が低く、**今後は文章を書く活動に重点をおいた指導を行っていきます。毎週行っている「深いイイ話」もその一環です。**

算数に関しては、今年度「小学校算数指導力向上モデル研究」(岡山県教育委員会指定研究)を受け日々研究を重ねています。

子どもたちが「分かった!」「できた!」と感じられる授業を増やせるよう、大学の先生や教育委員会の指導主事の方々からアドバイスをいただきながら算数指導力の向上を目指しているところです。

今回の調査で最も正答率が低かったのが右の問題です。(正答率 13.7%)

「基準量、比較量、割合の関係が正しく表示されている図を選ぶことができるか」を問われています。この問題の正解は「ア、カ」ですが、約半数の児童が

「イ、エ」と回答しています。

シンプルに分析すると「**1.5 倍がイメージできていない**」のです。ひと目盛りの $\frac{1}{2}$ となっている部分(右図のマル部分)に注目し、1.5 倍ではなく、1.5 多いと考えたようです。

2倍を問われると、もとの長さに着目して、その倍の長さを見つけることはできるはずですが。(もとの長さの2倍という考え方)

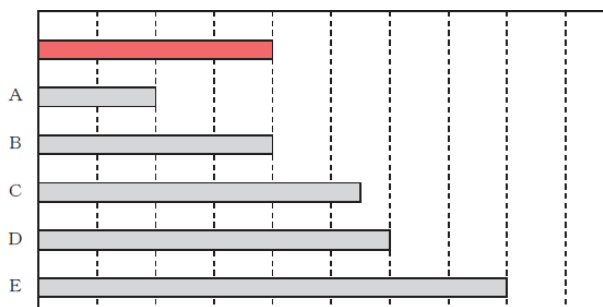
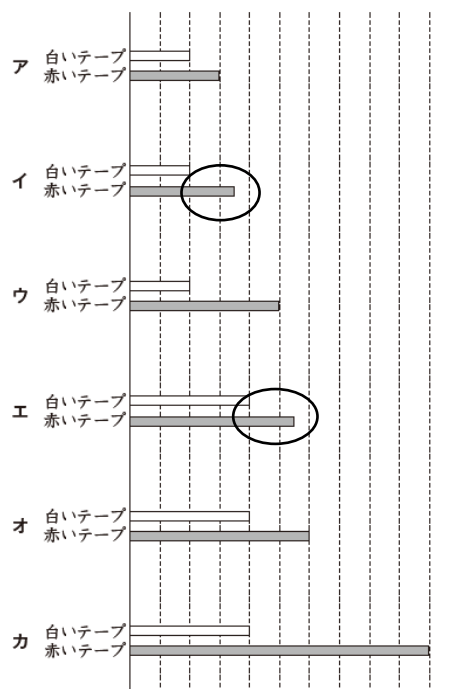
しかし、1.5 倍と問われるともとの長さに着目するという考え方が飛んでしまい、「ひと目盛りと $\frac{1}{2}$ があるから 1.5 倍だ!」という考え方に変わってしまうのです。

割合は、我々の身の回りにはあふれています。しかし、授業で習ったことが、生きた知識として定着していない(割引や、20%増量など)ということがこの問題から見えてきます。

右のような図をもとに、1 倍はもとの長さと同じ(B)であり、2倍はもとの長さの2倍(E)である。1.5 倍はその間にある長さ(D)になるという意味が理解できると、「ひと目盛りの $\frac{1}{2}$ 」に惑わされることはありません。

(4) 赤いテープの長さが、白いテープの長さの 1.5 倍になっている図はどれですか。

下の ア から カ までの中から2つ選んで、その記号を書きましょう。



割合は、子どもたちにとっては難しいと感じることが多い概念です。**学校でも、定期的にこのような考え方を大切にした習熟を行っていきたい**と思います。

ご家庭におかれましても、お金の計算などで割合に関する問題を出したり、割引(50%オフ、0.5 倍)や増量(50%増量、1.5 倍)の意味について話題にして一緒に考えたりする機会を増やしていただければ幸いです。

「1,000 円のTシャツが50%割引で売られていました。そこからさらに50%割引になると、値段はただになる。これは正しい?間違い?」

こんな問題を一緒に考えてみるのも一つの方法です。

この割合の概念は、2年生で学習するかけ算から始まります。九九を覚えるだけでなく、 2×5 の意味が言えたり、図に描けたりすることからスタートします。計算ができることも大切ですが、その意味を考えたり説明したりすること大切にしていきたいと思います。「テふれ学習」を算数にも取り入れ、間違いは宝探しと考え、気づいたことを書いたり、練習したりすることも大切にしていきたいと考えております。